

—巫女による神楽舞の奉納—例祭(10月15日)

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

平成27年11月1日

第 63 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

五穀豊穣

阿蘇神社

宮司 大島 大明

十月に入ると此處彼處で稻刈りが行われます。喜々津地区では田植えが終わつた頃に秋の稔りを祈念して田祈禱祭を実施する。田圃に差し立てられた御幣は田祈禱祭で願を込めたもので、秋の収穫時期まで稻の生育を見守ります。

収穫された新米は、十一月の新嘗祭に先ず神様に供え、一般の人々が新米を口にするのは新嘗祭の後という先人の教えも、最近では聞くこともなくなりました。

一般に五穀は米・麦・粟(あわ)・豆・黍(きび)を指しますが、近年では神社の祭りでも五穀が神前に供えられることはなく、地元産の農作物・果実などを新穀と称して献じるようになりました。

十一月二十三日は新嘗祭、今では勤労感謝の日。勤労への感謝も大切ですが、食卓に並ぶ作物は、自然の恵みを受け、多くの人が手をかけて収穫されたものであることを感謝して食したいものです。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の降昌と世界の共存共榮とを祈ること

平成二十七年例大祭を斎行!!

去る十月十五日に阿蘇神社の例祭が斎行されました。定刻宮司以下祭員が参進して所定の座に着き祭典が開始されました。

先ず御本殿の御扉を開き、神饌と神社本庁よりの幣帛料を神前に供え、宮司が御神徳を称えるとともに、氏子崇敬者の平穏と更なる御加護を祈念する祝詞を奉上しました。

また本年は、御神宝として糸巻太刀一口、祭事用のテント一張が奉納され、祝詞に添えて奉上されました。

次に巫女が笛太鼓にあわせ神樂舞を奉納、その後宮司・参列者の代表が玉串奉奠を行いました。

祭典終了後に定例の表彰式が行われました。

昨年末に御鎮座四百六十年の記念事業として施工された、境内トイレの水洗化工事に多額の浄財を寄進された皆様方には、長崎県神

社庁長よりの感謝状の伝達、またその他の神社への各奉納者へは宮司感謝状が贈呈されました。

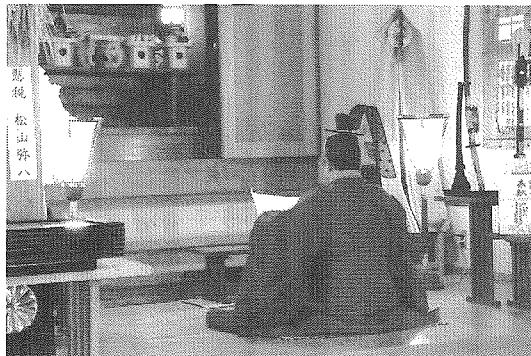
引き続き宮司が挨拶を行い、奉納された詳細を説明、改めて感謝の意を述べました。

その後境内で記念撮影を実施、次いで社務所に移動して直会を開催しました。総代会長の挨拶の後、

◆阿蘇神社宮司感謝状
手水舎改築工事費奉納

森開発 森強殿

庫多良見支店長 中村哲也
以上



一宮司の祝詞奉上一



一感謝状の贈呈一

・テント一張奉納

徳永建設㈱ 徳永孝次 殿

・糸巻太刀一口奉納

吉野 徹 殿

責任役員

また、例祭に際し左記の通りご献納を賜りました。ご芳名を記しお札を申し上げます。

《順不同・敬称略》

◆玉串料 長崎県神社庁
◆幣帛料 慈恵病院 松本卓郎、
㈲森商会 森 誠司、㈱溝上建装
溝上元治、㈱雄苑 松山敏雄、北
島守幸、八江利春、徳永建設㈱

徳永孝次、松尾忠憲、山崎弘之、
がこもごも祝辞を述べ、高松悟評

議員の发声で乾杯、平成二十七年の
例大祭を祝いました。

J A長崎西彼喜々津支店長 森
西平 隆、本田英二、草野 敏、
秋雄、峰 誠一郎、村瀬健一郎、
池田芳信、内村典秋、持永隆行、
中路 徹、松森恒一、徳永廣治、
嶋田彌八郎、岩本 熱、関山雅孝、
前田信太郎、吉野 徹、松尾清人、
大久保治賢、浦嶋政美、森 藤男、
◆献 酒 十八銀行多良見町支店
長 矢野祐介、親和銀行多良見支
店長 十時信行、たちばな信用金
庫多良見支店長 中村哲也

その後境内で記念撮影を実施、
次いで社務所に移動して直会を開催しました。総代会長の挨拶の後、

◇総代会よりのお知らせ

・定例評議員会の開催

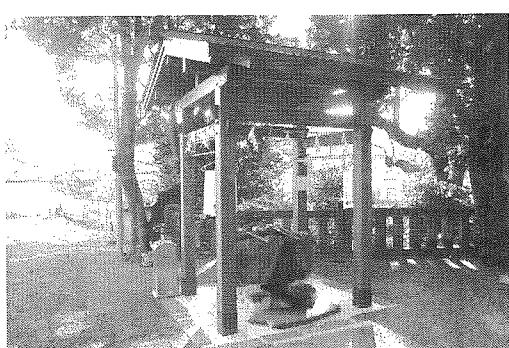
五月二十二日に定例評議員会を開催。予決算書及び活動計画について審議されました。また本期の監事には中路徹（阿蘇）、高松悟（船津）の両名が選任されました。

・手水舎の改築工事

平成四年に『二十五日会』より奉納された手水舎は、石造りの為か地盤が下がつて本体が大きく傾斜し、倒壊の危険が生じた為、本年四月一日より使用を停止し、対応を協議して参りました。

五月二十九日開催の評議員会で現在の石造りの手水舎を撤去し、木造の手水舎に改築することと決定いたしました。旧手水舎の解体及び基礎工事等は㈱森開発、本体工事は㈲木下建築に依頼をし、工事に要する経費は総代会の会計より拠出することとなりました。

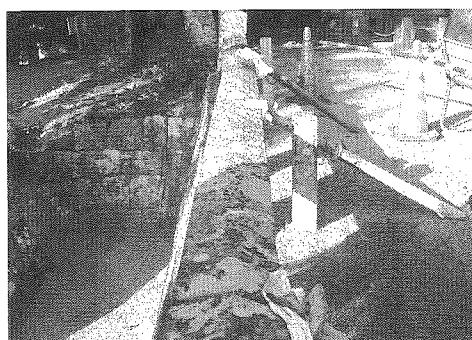
㈱森開発さまには、解体から基礎工事、地盤の改良工事など、工事の全てを奉納されました。また電気工事は西原電気商会さまに、奉納いたしましたことを申し添えます。



—改築された手水舎—

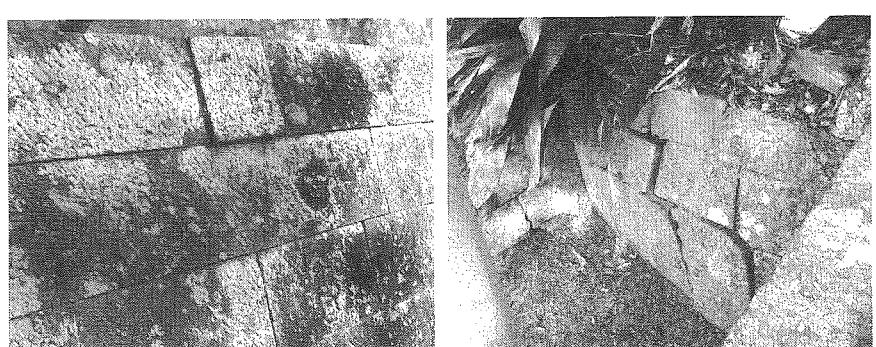
・境内の現状と修復工事について

阿蘇神社は天文三年（一五三四）に熊本の阿蘇神社より勧請し、因みに祠を建てて祀られました。寛永元年（一六二二四）に、氏子が協力し現在地に社を建立して遷座したと伝えられます。



—御社殿前の石玉垣—

総代会では対応を協議して参りましたが、修復工事には相当額の費用が必要となり、総代会の会計では到底対処することができません。氏子各位より賜っております「神社維持費」も祭典諸経費、神社境内の管理及び倒木・枯木の處理などに使用しており、通常の総代会の会計は厳しいのが現状でございます。



—大きくふくらんだ石垣—

この時期に完成されたものと思われます。百年の時を経て石垣の一部が大きくふくらみ、上部の石垣は傾く事態になつて参りました。すぐに倒壊するという状況ではないとのことですですが、予防のために危険表示をしております。

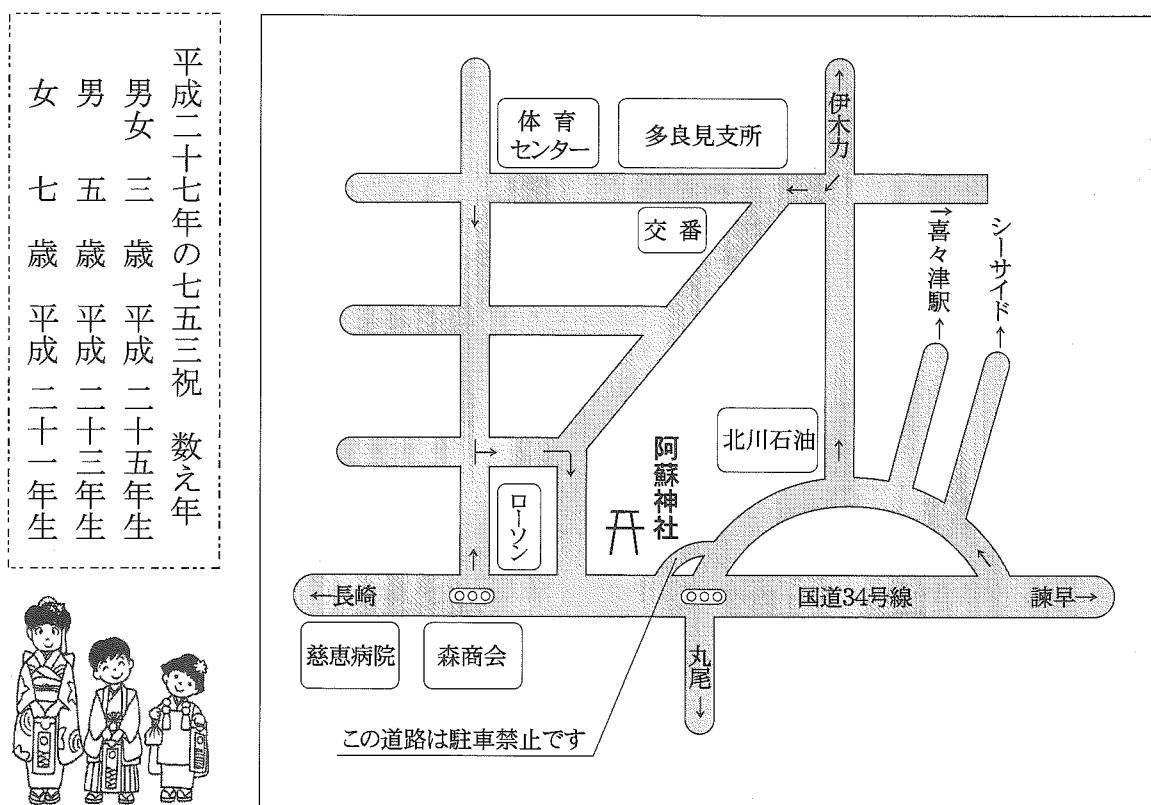
平成二十七年十月

阿蘇神社総代会長 前田信太郎

他総代一同

七五三詣は阿蘇神社へ!!!

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女児七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。



本年は阿蘇神社より四名が長崎県神社庁長より表彰状を授与されました。おめでとうございます。

- ・ 神社総代功績表彰
- ・ 神宮大麻領布功績
- ・ 敬神功劳表彰
- ・ 敬神功劳表彰

徳永建設株 開発 森 強 殿

長崎県神社庁の表彰規程により
功績多大と認定された皆様方であ
り、今後も阿蘇神社へのご高配を
賜りますようお願ひいたします。

去る八月二十五日に第四十六回
神道中央研修会が長崎市で開催さ
れました。県下の神社関係者が一
堂に会しての研修会で、表彰式も
実施されます。

◆十一月七日（土曜）、八日（日曜）、十四日（土曜）、十五日（日曜）の四日間は、七五三の予約は不要
☆受付時間 午前十時～午後四時
これ以外の日時にご参拝予定の方は、お手数ながら事前に予約をお願いします。
☆駐車場には限りがございます。
乗り合わせてお越し下さい。